


ID ^{注1)}	201206	公開レベル ^{注1)}		保管形式 ^{注1)}		保管場所 ^{注1)}		前回ID	
報告書名称 /調査名称	令和元年度 白神山地周辺地域（秋田県側）における小型囲いわなによるニホンジカの試行的捕獲							発行年月/報告年月	
								2020年	3月
調査機関	東北森林管理局 藤里森林生態系保全センター			委託機関					
調査開始年	2016年	10月	調査期間	2019年	4月	～	2019年	12月	
調査頻度 ^{注2)}	毎年	—	調査時期 ^{注2)}	春	—	秋			
ヒアリング計画	2017年3月	改訂	区分 ^{注2)}	II B	大区分 ^{注2)}	2	小区分 ^{注2)}	(3)	
調査箇所・範囲 ^{注3)}					調査手法				
<input type="checkbox"/> 核心地域 <input type="checkbox"/> 緩衝地域 <input checked="" type="checkbox"/> 周辺地域 <input checked="" type="checkbox"/> GPS等の位置データあり					<p>■目的 近年白神山地周辺で相次いで目撃・撮影されているニホンジカについて、越冬する可能性が高い海岸寄りの低標高地に、獣サイズ判別センサー（写真メール通報機能付き）を搭載した小型囲いわなを1基設置して捕獲を試みた（図1、写真1・2）。</p> <p>■設置箇所：八峰町 八森山国有林 159林班内（図1） （令和元年度 中・大型哺乳類調査業務のセンサーカメラ設置箇所3の直近）</p> <p>■わな：四国森林管理局で開発された『シカ捕獲用小型囲いわな』高さ130cm×幅75cm×奥行き180cm、重量58kg</p> <p>■獣サイズ判別センサー：アニマルセンサー2（㈱アイエスイー）</p> <p>■わな入口に向けた観察用センサーカメラ：Bushnell トロフィーカメラ1台（動画撮影）</p> <p>■誘引剤：ユクル（日鐵住金建材株式会社）、ハイキューブ（(有)ワールド牧場）</p> <p>■稼働期間：平成31年4月24日～令和元年5月27日（土日祝日はゲートを固定）</p>				
 <p>※周辺地域における調査箇所は備考欄に示す。</p>									
結果概要（スペースに収まるように入力してください）									
<p>小型囲いわな（以下、わな）は前年度と同地点（図1：◎地点）に設置したままにしており、入口のゲートを固定した状態で4月1日から動画撮影を開始した。4月12日、わなにアニマルセンサー2を取り付け、わなの内外に誘引剤としてユクルとハイキューブを撒いて電源を入れずにゲートを開けたまま固定した。春期の捕獲事業は4月24日より開始し、5月27日まで毎週明けにアニマルセンサーの電源を入れて週末に電源を落とす作業を続けた。5月27日に白神山地科学委員とわな周辺でニホンジカの痕跡調査を行った際、わなの設置箇所が開けすぎていてシカが警戒するとの指摘を受け、秋期は設置位置を100m程山側の林内に移動させた。</p> <p>9月6日にわなを林内に移動させ（図1：△地点）、わな入口付近にセンサーカメラを設置した。わなの周囲には草本類が繁茂していたため、誘引剤としてユクルのみをわなの内外に1個ずつ設置した。移動先の△地点は電波が届かず写真メール通報機能が使えないため、秋期はわなを稼働させずゲートを固定し、誘引剤やわなに対する哺乳類の反応をセンサーカメラの動画撮影で記録するのみとした。</p> <p>わなの春期稼働日数（＝アニマルセンサーの電源を入れた日数）は4月：3日、5月：4日、以上合計7日のみであった。毎週明けにわな周辺のセンサーカメラ2～4（図1）に写りこんだ動物を現地で確認し、カモシカが撮影されていた場合は錯誤捕獲を防ぐため、その週に関してはアニマルセンサーの電源を入れないという措置を取っていたため、稼働日数が少なくなったものである。稼働期間中に一度カモシカがユクルに興味を示す動画が撮影されたものの（写真3）、大型哺乳類がわなの内部に侵入して捕獲に至ることは無く、タヌキ等の中型哺乳類についてもわなの中に入ることはなかった。</p> <p>わなの動画撮影カメラと、わな周辺のセンサーカメラ2～4（静止画）で撮影された哺乳類の確認種と個体数を表1に示す。なお、動画撮影カメラはインターバル30分・一回の撮影で30秒間撮影されるように設定し、◎地点では159日間、△地点では116日間それぞれ設置した。一方、静止画撮影のカメラはTREL10J-Dで、インターバル30分・一回の撮影で3連写されるように設定し、地点2・3は227日間、地点4は211日間それぞれ設置した。連写された場合は、一連の撮影で写った最大個体数をカウントして集計した。錯誤捕獲の恐れがあるカモシカが合計18頭、ツキノワグマが合計19頭撮影されたほか、わな直近の地点3でオスのニホンジカが3頭撮影された。わなを林内に移動させた△地点では、◎地点よりカメラ設置日数が少ないにもかかわらず撮影種数・個体数ともに増加したが、ニホンジカが撮影されることはなかった。</p>									
問い合わせ	東北森林管理局 藤里森林生態系保全センター 〒018-3201 秋田県山本郡藤里町藤琴字大関添24-3 TEL：0185-79-1003 IP：050-3160-5865 FAX：0185-79-1005 ≪原本（データ）の帰属について≫								

注1) 「ID」「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。

注2) ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。

注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

備考

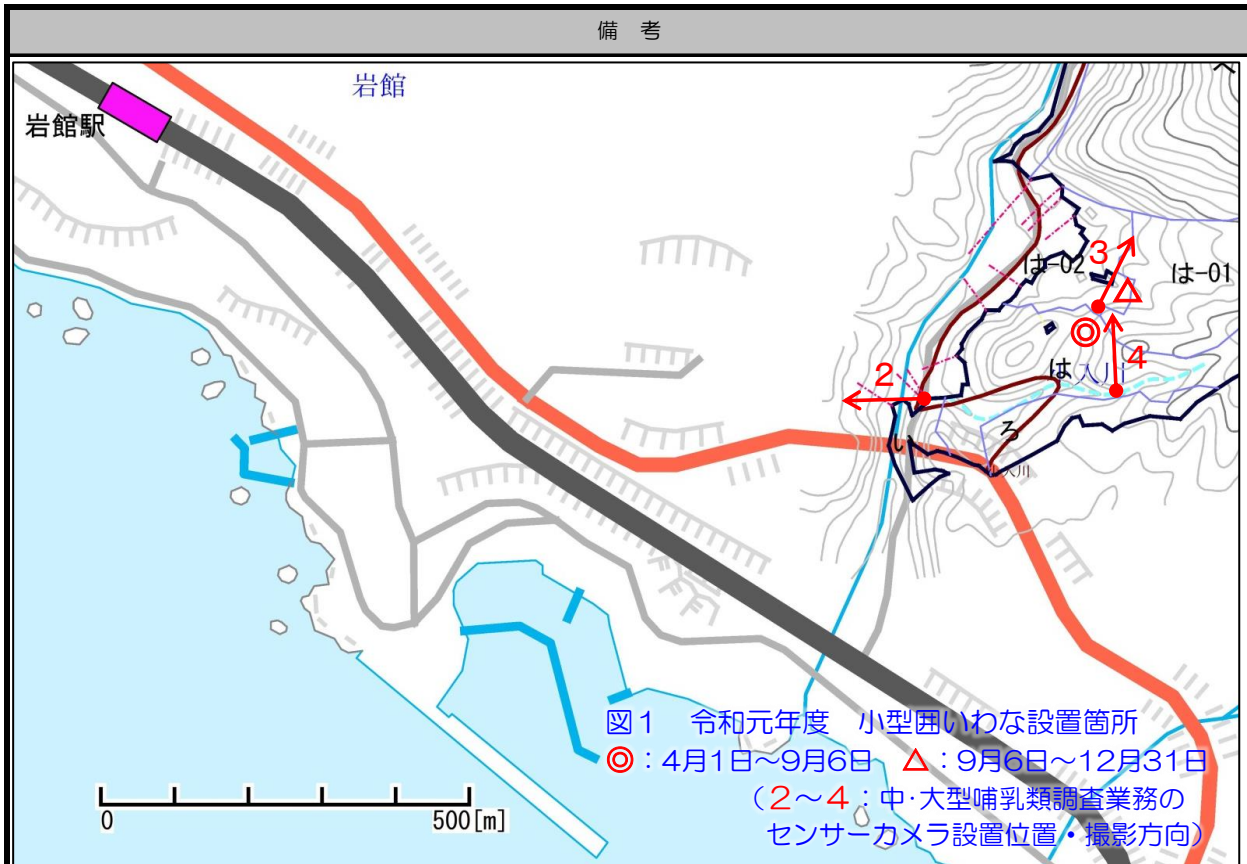


写真1 わな全景 (◎地点：4月12日)



写真2 わな全景 (△地点：9月10日)

表1 わな・2～4で撮影された哺乳類

種名	わな動画		静止画			合計
	◎	△	2	3	4	
ニホンザル		5	1	11	2	19
キツネ			2	39	1	42
タヌキ	1	4	6	27	1	39
ツキノワグマ		5	4	9	1	19
テン		2	2	19	4	27
イタチ					3	3
アナグマ	1	1	13		1	16
ハクビシン		2	10	35	22	69
イエネコ	1	3	1	63	6	74
ニホンジカ				3		3
カモシカ	3	1	1	10	3	18
ニホンリス		3		11	124	138
ニホンノウサギ				1		1
不明ネズミ類				3	69	72
不明哺乳類	1	1		16	4	22
個体数合計	6	27	28	260	241	562
種数合計	3	9	9	12	11	13



写真3 ユクルに近づくカモシカ (5月10日)